

平成25年度 練馬区立大泉北小学校 学校経営計画

校長 小島 英樹

1. 教育目標

心の豊かな子ども よく考える子ども みんなと力を合わせる子ども 健康で根気強い子ども

* 6年間の小学校教育を通して、「知・徳・体」のバランスのとれた自立(律)した子供を育てる。

* 今年度の重点目標を『健康で根気強い子ども』とする。

2. 目指す学校像

「笑顔いっぱい大北小、みんなで育つ大北小」 子供の体力向上を目指す。 子供の規律・規範意識の向上を目指す。 子供の人権意識の向上を目指す。
--

* 信頼に支えられた人間関係を基盤として、安全・安心な居場所としての学校を目指す。

3. 中期経営目標

(1)〔授業力向上の推進〕

指導力を高めるための校内研究の充実。

「大北小スタンダード」学習指導編・生活指導編の整備と
全校共通指導による学習規律・生活ルールの徹底・定着
年間指導計画・評価計画の見直しと充実
国・都・区学力調査の分析と学力向上推進計画の作成

東京都スポーツ教育推進校として、体育科の継続研究
「大北小スタンダード」による体育授業の改善・充実
児童自身による「学習めあて」の意識化
運動の日常化の推進（「運動貯金」「チャレンジカード」他）
体育行事による運動習慣づくり（マラソン大会・大縄集会他）
運動環境の整備（校庭・体育館）
全校児童への定期的な体育学習意識調査の実施・分析

基礎的・基本的な学力の定着と体力の向上。

朝学習・朝読書の推進

自校作成「算数プリント（1～6年用）」による習熟

図書館支援員および大泉図書館との連携

担任と講師によるティーティーチングの推進

（算数・理科・体育・外国語活動）

大泉SSCによる体育授業支援員の活用

放課後の体力向上事業の推進

(2)〔心のふるさとづくりの推進〕

学校内外の豊かな自然環境を活用した体験的活動の工夫。

大北の森・どろんこ山・大北田んぼ

四季を通じての観察・栽培・飼育活動の推進。

生命尊重・自然とのふれあい・生き物とのふれあい

「みどりのカーテン」・校庭芝生等の活用

「心のふるさと」としての郷土愛と愛校心の醸成。

練馬大根の栽培・収穫・たくあん漬け体験活動の推進

「橋戸田んぼ」での体験活動・地域の方々との交流

(3)〔豊かな心を育てる活動の推進〕

異年齢児童との交流活動。(けやき班活動)

助け合い、思いやりの心の育成。

季節行事や表現活動の推進。

(こいのぼり集会・七夕集会・どんど焼き集会・豆まき集会他)

豊かな感性と健康な心身の育成。

各種コンクールへの応募。

地域社会との交流活動の推進。

地域社会の一員としての自覚。

社会に貢献する意欲と態度の育成。

近隣幼稚園・保育園・中学校・高校との交流活動の推進。

学校探検・合唱発表会・リトルティーチャー・ボランティア
挨拶運動の推進。

「あいさつボランティア」の活動。

名前を正しく呼ぶ。(名札着用)

人権尊重・言語環境の向上。

4. 今年度の達成目標と具体的方策

(1) いじめ・体罰・不登校ゼロ

区「いじめ対応指針」に沿った組織的対応力の強化

区「いじめ防止強化月間」に向けての啓発と積極参加

年3回の全児童対象「いじめ実態アンケート」の実施と

早期発見・早期対応

生活指導委員会・特別支援教育委員会による組織的対応

スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・生活支援員との
情報共有・連携強化

関係諸機関との情報共有・連携強化

(都児童相談所・区子供家庭支援センター・区教育センター・
区教育相談室・主任児童委員・民生児童委員・青少年委員・
学校応援団・区児童館・学童クラブ他)

校長講話による啓発

校内研修会による教職員の意識向上

(2) 『健康で根気強い子ども』の育成

「大北小スタンダード」学習指導編・生活指導編。

学習規律・生活ルールの指導・徹底・定着（規範意識の育成）
校内研究の充実。

体育科の学習指導の工夫・改善・日常化

児童自身による「学習めあて」の意識化

学習意欲・活動意欲の喚起。

図書館支援員との連携・ICT 機器の活用・新聞の活用

基礎・基本の確実な定着。

朝学習・朝読書の推進

自校作成「算数プリント（１～６年用）」の活用

ノート指導の充実

特別支援教育の視点。

特別支援教育コーディネーター・特別支援教育委員会の組織化

巡回相談員との連携・副籍児童との交流活動

生命尊重・人権尊重の意識。

「人権教育プログラム」による研修と活用

言語環境・教室環境の整備・「人権の花」

道徳授業の充実

教室環境の整備（美）

掲示物の工夫・整理整頓・安全への配慮

正しい善悪の判断力と実行力の育成。

規範意識の育成・道徳授業の充実

教師は、最大の人的環境。

挨拶・言葉遣い・表情・服装・髪型・身だしなみ

教室を開く、授業を開く。

全学級授業公開・校内自主研修会

東京教師養成塾塾生・教育実習生の受け入れ

(3) 地域・保護者との連携

学校応援団・PTA・地域との連携強化。

青少年育成事業・地域行事等への積極参加。

授業への参加機会の工夫。

白石農園・「橋戸田んぼ」・やすらぎミラージュ

学校評議員会および学校関係者評価の実施

(4) 当面する教育課題への対応

東日本大震災への関心・意識の継続。

区一斉防災訓練・保護者引き渡し訓練の実施

学校防災体制の整備。

区「地震対策の手引き」に沿った組織的な対応

避難拠点マニュアルの改訂・避難所開設訓練の実施

幼保・小・中・高の連携・交流。

北大泉幼稚園・北大泉保育園・大泉北中学校との連携

学校探検・合唱発表会・リトルティーチャー・ボランティア

読書活動の推進。

図書館支援員および大泉図書館との連携・朝読書の実施

環境教育の推進。

「CO2削減キャンペーン」・「エコライフチェック」の実施

節電・節水の啓発と実施

教育ICTの推進。

学習室の整備・電子黒板の活用

キャリア教育の視点。

体験活動の充実

(5) 安全への配慮と事故防止。

“ヒヤリハット”(小さな危険を見逃さない!)

日直・看護当番の巡回と日常点検

こまめな報告・連絡・相談・記録。

日直日誌・看護当番日誌の充実

危機管理体制の充実。

緊急対応マニュアルの改訂

児童の危険予知力の育成。

避難訓練・学級指導の充実

食物アレルギー対応

要対応児童の確実な把握と除去

情報共有と対応マニュアルの整備

定期的な研修会の開催とエピペンの講習

サービス・勤務の厳正。

サービス研修の充実